

令和5年度 第1回築上町総合教育会議 会議録

1 日 時 令和5年11月30日(木) 午後3時00分開会

2 場 所 築上町役場本庁 議会委員会室

3 出席者

(構成員) 築上町長 新川 久三
教育委員会
委 員 麥田 猛美
委 員 折本 美佐子
委 員 小林 正尚
委 員 鱒淵 尚徳
教育長 久保 ひろみ

(構成員以外の出席者)

椎野総務課長、鍛冶学校教育課長、尾座本生涯学習課長、
樽本教育施設整備室長、岡部学校教育係長、須山学校管理係長、
岡部社会教育係長、野村スポーツ振興係長、藤江教育施設整備係長、
宮内指導主事、榎指導主事、寺門指導主事

(傍聴者) 5 名

※読みやすくするため、発言の趣旨を損なわない範囲で、重複表現、言い回しなどを整理しています。

午後3時00分開会

(1) 開 会

○学校教育課長(鍛冶 孝広君) それでは、定刻になりましたので、ただいまから令和5年度第1回築上町総合教育会議を開会いたします。本日、進行を務めさせていただきます学校教育課の鍛冶でございます。どうぞよろしく願いいたします。

それでは、お手元の次第に沿って進行させていただきます。

まず、2点目の町長挨拶でございます。新川町長、お願いいたします。

(2) 町長あいさつ

○町長(新川 久三君) 皆さんこんにちは。本当に寒い日になってまいりました。上空のほうはマイナス二十度近くあるということで、雪がこっちのほうは降ってないけど、山のほうはちょっと降っているみたいですけど、本当に冬だなという季節になってまいりました。今日は築上町総合教育会議ということで、教育委員の皆さん御足労いただき大変ありがとうございます。

懸案事項の築上町立小中学校適正配置、皆さんも御存じのとおりでございますけれども、先日、中央公民館のほうで私も皆さんと一緒に出席させていただきました、色んな意見もあるというようなことで、多くの人の意見がもうちょっと欲しかったかなというのが、感想でございますけれども、そういうことで、今日は、図書館と小中一貫についての意見交換というようなことで、事務局のほうから色んな報告をしていただきますけれども、それについて、皆さんの質問や忌憚ない意見がありましたら、提言していただければありがたいかなと思っておるところでございますので、どうぞよろしくお願ひします。

(3) 報告事項

①築上町立小中学校適正配置について

○学校教育課長(鍛治 孝広君) それでは、3点目の報告事項でございます。報告事項は記載のとおり3点でございます。上から順に報告をさせていただきたいと思ひます。

まず1点目の築上町立小中学校適正配置についてということで、学校教育課から報告させていただきます。

小中学校の適正配置につきましては、本町における著しい少子化、児童生徒数の減少という大きな課題を踏まえ、これまで教育委員会の会議、またこの総合教育会議の中でも御議論をいただき、昨年10月に「築上町立小中学校適正配置基本計画」を策定したところでございます。その後、各小学校区での説明会、また保護者等を対象としたアンケートの実施、それから結果の公表等を行ってきたところでございます。併せて、町内の任意団体等との意見交換も行ってきたところでございます。

また、もう少し地域の意見、それから保護者の意見を聞いてほしいという御意見がございまして、そういう御意見を踏まえて検討会議の開催を決定したところでございます。先ほど町長も挨拶の中で触れられておりましたが、検討会議につきましては、18日に第1回の全体会議を開催し、町長をはじめ教育委員さんにも御出席いただいたところでございます。ありがとうございました。

この検討会議につきましては、本基本計画について、色々な立場の方々から御意見を賜る場と

いうことで開催するものでございます。今後、それぞれの中学校区部会を開催し、最終的に再度、全体会議の開催を予定しているところでございます。

今後の予定でございますが、この検討会議で御意見をいただいた後、その御意見を踏まえ、教育委員会で協議をさせていただきながら、併せて、町長との意見交換等を踏まえて、最終的には適正配置の実施に向けた具体的な実施計画を定めていくという予定としているところでございます。簡単ではございますが、学校教育課からの報告は以上でございます。

②図書館建設事業について

○教育施設整備室長（樽本 知也君） それでは、続きまして図書館の建設事業についてを報告させていただきます。教育施設整備室の樽本でございます。

事前にタブレットと、ペーパーで資料をお配りしていると思いますが、資料に沿って説明させていただきたいと思っております。当室からは4月から進めております築上町の図書館の整備事業、そして後に椎田地区の小中学校・地域コミュニティー一体型校の基本設計業務の概要についてを説明させていただきます。

最初に、築上町図書館整備事業についてでございますが、令和5年の3月31日に株式会社隈研吾建築設計事務所と設計業務の契約を交わして、現在実施設計業務を行っているところでございます。建設の予定地は、築上町役場の築城支所を改修しまして、図書館として整備する計画でございます。

整備計画の工程につきましては、別紙1の工程表を御覧ください。現在行っている設計業務を令和5年度中に完成いたしまして、その後、改修工事を経て、令和7年の9月の新図書館オープンを目指しております。

続いて、別紙2の築上町の図書館整備事業の基本設計概要版1ページを御覧ください。

方針といたしましては、築上町図書館基本構想、基本計画の基本理念にあります「～出会う・つながる・わくわくする～豊かな心と学びの心を育む、くつろぎの図書館」を実現するための図書館整備を目指しております。

3ページを御覧ください。

1階平面図でございます。子どもと子育て世代を中心とした幅広い世代の交流の生まれるスペースをコンセプトとしております。図書館の利用者、ボランティア団体の皆様から要望の多かったカフェスペースにつきましては、建物外にあります築城支所の大庇の下のほうに配置しております。なお、1階内部につきましては、エントランスホールに一部吹き抜けを設けております。こちらは、京築ヒノキの木ルーバーを用いた上に登りたくなるような大階段を計画しております。エントランスホールでは、カフェ等の飲食エリア、雑誌・情報コーナーなど、世代間交流スペースとして、開放感のある空間を計画しております。また1階の奥側は、本の森、遊べる本

棚、読み聞かせ室などを整備し、児童、親子が声を上げて楽しみながら、本と触れ合える空間を計画しております。

続いて4ページを御覧ください。

2階の平面図でございます。2階に関しましては、集中して学習できるエリア、また研修等も可能な会議室を備えた、たくさんの本に出会い、静かに読書を楽しむスペースをコンセプトとしております。充実した開架スペースの奥には、静かに学習や読書を楽しみたい方を対象に、学習室や集会・視聴覚室、ボランティア活動ルーム、サイレントエリアなどを配置しております。なお、1階と2階のイメージパースは、7ページと8ページに内観計画を掲載しておりますので、後ほど御覧ください。

続きまして、5ページを御覧ください。

3階の平面図でございます。3階部分は、既設のバルコニースペースを活用した企画展示や各種イベント、コワーキングスペースなど、多目的に使えるスペースを想定しております。なお現在、書庫となっております中央部分につきましては、閉架書架として活用していきます。

続きまして6ページを御覧ください。

外観計画でございます。既設の建物の外観につきましては、全面改修を避けて大庇の下のカフェスペースの整備、並びに町の新しいシンボルとして、全面の県道からの視覚性を重視し、人工木を組み合わせた樹木のような木ルーバーの外装を計画しております。

また、建物の周辺部分には、青空の下で読書が楽しめるように、一部芝生広場や既設の水路部分を改修しまして、座れる景石や屋外ベンチ等の小公園的なくつろぎの空間を計画しております。

以上、簡単ではございますが、図書館の整備計画の概要についてを説明させていただきます。

③椎田地区小中一貫校建設事業について

○教育施設整備室長（樽本 知也君） 続きまして、もう一つの資料を御覧ください。こちらが、椎田地区の小中学校・地域コミュニティー一体型校の、現在行っております基本設計業務の概要についてでございます。

こちらにつきましては、今年の6月議会に基本設計業務費を予算計上し、条件付一般競争入札により、9月1日に株式会社梓設計九州支社と基本設計業務の委託契約を結び、現在まだ基本設計の業務を進めているところでございます。

別紙3の椎田地区小中学校・地域コミュニティー一体型整備のスケジュールを御覧ください。これからのスケジュールにつきましては、令和6年4月までに基本設計業務を実施し、来年度、令和6年度に実施設計業務を予定をしております。その後、令和7年度から令和8年度にかけて、本体建物の建設工事を実施し、令和9年4月の開校を目指しております。また、開校後の令和9年度以降に、現在の椎田中学校の校舎の解体と解体底地の外構工事を行う予定としております。

続きまして、別紙4の配置計画を御覧ください。

配置計画につきましては、現椎田中学校敷地内の既設の中学校屋内運動場と武道場はそのまま残して、現有敷地内に3階建て程度を想定した本体建物と、中学校グラウンド、また小学校グラウンドと中学生用の駐輪場及び駐車場を整備する計画としております。なお、本体工事につきましては、小中学校の学校機能とは別に、多目的ホールを備えたコミュニティセンター施設を併設し、地域コミュニティ一体型校としての整備を計画しております。また、敷地の一部に放課後児童クラブも建設する予定としております。

尚、具体的な場所は確定しておりませんが、一部、現中学校敷地外にコミュニティセンターの利用者を想定して、120台程度駐車可能な駐車場整備を計画しております。規模につきましては、椎田中学校と地域コミュニティ一体型校の想定の延べ床面積として約1万2,000平米を想定しております。

以上、簡単ではございますが、整備計画の概要といたします。

(4) 意見交換

① 築上町立小中学校適正配置について

○町長(新川 久三君) 今、事務局のほうから3つの報告事項がございましたが、まずは、一番の町立小中学校の適正配置について、委員さんの意見があれば仰ってもらいたいと思いますが、今までの色んな形での感想とかなんでもよろしゅうございますけれども、ちょっと何か発言があれば手を挙げてよろしくお願ひします。

○教育長(久保 ひろみ君) 先日、適正配置基本計画の検討会議ということで、多くの皆様方に集まっていたきながら御意見を出していただきました。短い時間ではありましたが、皆さん方の御意見、本当に様々な意見があるなということを感じたところでございます。この意見をしっかり受け止めて、子どもたちにとって最適な適正配置になるように頑張っていきたいなという気持ちが強くなりました。本当に皆さん方から、あと2回ありますけれども、たくさんの御意見をいただきたいなと思ったところです。皆さん方、委員さんたちがどう思われたか、お話しいただければと思います。よろしくお願ひします。

○町長(新川 久三君) じゃあ順番にいきましょうかね。麥田委員。

○教育委員(麥田 猛美君) 麥田でございます。私、昔、椎田中学校に8年ほど勤めておりました。3Kの典型みたいな校舎で苦勞いたしましたし、変な話、見えない部分が多かったんですね。子どもの姿が見えない、学校に来る人の姿が見えないということで、ちょっと苦勞した部分がありましたので、これ見たら嘘みたいな感じで、それこそ本当かなという感じですけど、とても期待をしているところもあります。

私も今、築城中に週のうち3日、朝、あいさつ運動に行っています。それから、椎田は火曜

日だけ2日行っていて、子どもの様子もずっと見て、声かけもしているんですけど、私たちが勤めた頃の子どもの姿と今の子どもの姿と、びっくりするぐらいに違います。だから、声かけをしながら行っているんですけど、例えば服装がおかしいとか、ヘルメットを被っていないとか、そういうことは一切なくなるというふうに思います。だから、今の子どもたちが少しでも早く、今来ている子どもたちも含めてですけど、いわゆる新しい学校で、いい気分を味わっていただきたいかなというのも正直あります。間に合わないでしょうけども。だから、今、もうちょっと頑張れば子どもたちにそういう快適な空間が提供できるのかなと思って、大いに期待をしているところです。検討会議の中で出た、椎田中学校のPTAの会長さん、名前は差し控えますが、やっぱり子どものためにというところがひしひしと伝わってきましたので、可能であれば一日でも早く快適な空間をつくってあげたらいいのではないかなと、それができる頃は、私も生きていないかも分かりませんが、そんなふうに思っているところでございます。大いに期待をしております。

以上です。

○町長（新川 久三君） 次に、折本委員、お願いします。

○教育委員（折本 美佐子君） 折本です。私も検討会議に参加させていただいて、町長がもう少し意見がというお話を先ほどされたと思うのですけれども、私は、想像していたよりは意見が色々出てよかったと思いました。2回目はもっと皆さんもますます意見が出てくると思いますので、そういった意見をしっかり受け止めて、私も前向きに頑張っていこうと思いました。

以上です。

○町長（新川 久三君） それでは、小林委員、お願いします。

○教育委員（小林 正尚君） 検討会議のほうに出てちょっと感じたのは、次からもっと多様な考えが出てくるんだろうなとは思ったんですが、旧椎田地区と旧築城地区で、個人的な感想ですが、ちょっとやっぱり温度差があるというか、違いがあるのかなと思いました。個人的には城井谷のほうで上城井小、寒田小にいましたので、大変歴史もあり、文化もあり、色々なことがあって、そういうのも絡んで、今度の一緒になるというところに向けて、いろいろ課題が出てきているのかなというのは感じております。

ちなみに自分は葛城小学校区で、よく僻地で孫返しとか言って子どもを呼んで、なんとか学校を残していこうということが、一つとしてあったんですけど、自分のところは自分の子どもが帰ってきて、孫が2人いて、ちょうど葛城小学校にあと何年かで行くんですが、その時にはもう統合になっている可能性があるんで、うちの息子も、ちょうど入る時に、入ってちょっとしてからまた変わるのかと言って、なんか心配していましたが、そういう節目で将来を考えた時に、今ワンチームになっておかないと、自分の隣組地域でも、人がいなくなってきた、その時に少人数がどうのこうのというのではなくて、椎田地区は椎田地区のワンチームで、みんなで一緒に学

んでいく必要があるんじゃないかなということで、自分の息子には言っていますが、そういった色々な諸々のことがこれからも出て、それを一つ一つお互い理解していい方向に行けたらなと考えております。

以上です。

○町長（新川 久三君） 鱒淵委員、お願いします。

○教育委員（鱒淵 尚徳君） 鱒淵でございます。自分も他の委員さんたちとほぼ同じような考えではありますし、昨年度までは保護者という立場で、こういう話をずっと聞かされて、良い学校づくりが出来ればいいなという思いをずっと抱いておりました。昨年、椎田小学校は150周年という長い歴史を一つ区切りとして、他の学校も多分150年ぐらいの歴史があると思うので、やっぱり統廃合とかになると寂しい思いはどうしてもあると思うんですが、この前のPTA会長が言っていたように、子どもたちのことを考えて一歩でも進んでほしいというような思いもあると思うので。あと、椎田小と椎田中学校は校舎的にも古いし、一日も早く建てて、新しい環境で学んでほしいなという思いはあります。皆さんがフレキシブルな対応で一歩一歩進んでいって、良い方向に向かえばいいなと思います。

以上です。

○町長（新川 久三君） 皆さんから意見をいただきましたけど、基本的には、この適正配置基本計画の検討会議の中での皆さんの感じは、この配置計画を基本的に進めていくという立場に立っていらっしゃると思っております。そういう形で、私もちょっと述べますが、本当に歴史というものは非常に大事です。この歴史をいかに後へ残していくかということ、こういうのがまだ見えてないという形になりますので、こういうものを早く今までの課題を拾い上げながら、これも住民の意見を聞いて課題を解決できるような方向性が出来ればいいかなとこのように考えております。

私も母校がもう2つ無くなっております。八築中学が築城中学になりましたし、それから築上中部高校が廃校になって、青豊高校が出来ましたけど、全然別個だというふうな形になって、寂しい思いはしていますが、これも時代の趨勢かなというふうなことで、あとそこに通う学生さんが、どういうふうに感じるかというのが一番大事じゃないかなと思うんですね。また、子どもたちの意見も聞く必要がある、まだ聞いていないんじゃないかな、子どもたちの意見は。機会があれば、そういう意見も聞く必要があるんじゃないかなと思っておりますので、今後そういう課題に向けてみんなで頑張っていったらどうかと思うので、よろしく願いいたします。

以上です。

②図書館建設事業について

○町長（新川 久三君） それでは、次に、図書館建設事業について、これも意見交換という形で、

先ほど報告がございましたけど、質問等もありましようけれど、まず質問から受け賜っていきましようか。詳しい説明がございましたので、何か質問ございますかね。いいですかね。

では、私から1個質問いいですか。カフェを造るとしているけど、どんなカフェになるのか。まだちょっと見えていないんで、そういう経営形態とか、そういうのをどのような形で持つていくのかというのを検討していれば、話してもらいたいと思うけど。

○生涯学習課長（尾座本 三雄君） 生涯学習課、尾座本です。カフェについては、まだ具体的なところは確定しておりません。今後、建築のめどがある程度立った時点で、どういった形でそのお店を選定していくかというところを検討しまして、コンセプトとしましては、カフェを基準に人が寄りやすいとそういったところで、あとはどんなものをカフェで提供するかにもよって変わってはくるんですけども、人が集まる、そして本を読みながらカフェでくつろげる、そういったところができるいけばいいかなというふうには考えています。具体的な内容については、まだ白紙の状態になっております。

○町長（新川 久三君） それを早く具体化してもらったほうがいいんじゃないかな。出来上がったというんじゃなくて、やっぱり今ある程度、基本方針、こういう形態でいくとか、そういう方針を出して、皆さんで検討しながら、皆さんが使いやすいような、具体的なカフェの内容まで、どういうカフェにしていくかということで、それによって、募集してテナントを入れるのか、直営でいくのかとか、色んなそういう問題点もあるんで、そういうのは早くやっぱり決めたほうが良いんじゃないかなと、私は思っておるんで、ぜひそこのところも事務局のほうで検討しながら、協議していきたいなと思っているところでございます。どうですかね、皆さん。鱒淵委員お願いします。

○教育委員（鱒淵 尚徳君） 鱒淵です。先日、図書館の視察をさせていただいた時に、フロアによって緑の植木だったりそういうのがあって、なんか心が和むような印象を受けたので、緑、植物とか、そういうのが配置できるのであれば、一つ入れていただければなとは思っています。

以上です。

○町長（新川 久三君） 他にないですか。小林委員お願いします。

○教育委員（小林 正尚君） 自分も視察に行って思ったんですけど、なんか屋上、見たところは上がってちょっと高いので、見晴らしが良くて、とっても気持ち良くて、そこでちょっとコーヒーを飲んだりとか、本を読みながらとか、そういうスペース、多分計画に入っていたと思うんですけど、そういうのがあれば良いなと。もしかしたらたまにカップルが来て、案外そういうところに人が集まるから。それとさっきのコーヒーですね、コーヒーも出来たらスタバとかがあったら、横の道路を通っている人が、ちょっとスタバがあるので、コーヒー買って帰ろうとか、コーヒーはあそこで飲んで行こうとか、そういうネームバリューがあれば良いんだけど。それ

が駄目ならば独特なコーヒーのすごいスペシャリストがいるとか、抹茶がおいしいとか、そういう特殊性を出して宣伝して、とにかく人が寄るようなスペースが出来れば、案外そういうところから、次は本に行ってみようかなとか、そういうのに繋がると思うので、そういうのも出来たら大変ですけど、お願いしたいなと思います。

もう1点、我が町の歴史コーナーはどこかに入っていますよね。視察へ行ったところもその町の歴史の色々なコーナーがありましたので、築上町コーナー、宇都宮からいっぱい色々すごい歴史上の人がいますので、そういうコーナーが。前も言いましたけど、特に城井谷に多いですので、そこら辺もよろしくをお願いします。

○町長（新川 久三君） 事務局、その辺はどうですか。

○生涯学習課長（尾座本 三雄君） 展示コーナーなんですけども、今のところ1階のロビーのところに展示コーナーを設けようという計画にしております。運営に関しましても、生涯学習課の窯跡公園のほうにも協力をお願いして展示をするような形で考えております。

以上でございます。

○町長（新川 久三君） またそれも具体化すれば、皆さん提示しながら、また意見もらえれば良いかなと思っていますんで、何にしてもそういうのを早め早めをお願いしたいと思います。あと。麥田委員をお願いします。

○教育委員（麥田 猛美君） 前は光のことで是非検討してほしいということでお願いをしましたが、結果も知りたいということと、後は色々視察に行ったところで、やっぱり何が違うかという、ここは音が内からも外からも起こる可能性があるじゃないですか。外は、飛行機が飛んでいるわけですから、内側は自由に割と遊べる空間もあって、色々な音が出るじゃないですか。そういう対策をどういう形でしていくのか、例えば壁の構造であったりとか、ガラスが、今はもう二重じゃなくて三重の時代ですから、ガラスの面で外からどうシャットアウトするのか、色々なやり方があるとは思いますが、ただの1枚ガラスで遮断するだけではとても無理じゃないかなという気がしますし、熱効率も悪いしということで、その辺の見通しがあればお願いします。教えてください。

○教育施設整備室長（樽本 知也君） 光の件については、書架の配置を光が当たらないような場所に配置する計画をしております。それと音の問題なんですけれども、1階から2階には吹き抜けスペースがございます。1階の図書館のコンセプトが、親子、また年配の方を含めて騒いでいただいて結構ですよという、周辺の図書館でもあまりないようなコンセプトを描いております。その関係で、若干上のほうに音は漏れていくことが想定されております。ただし、2階部分は静かに読書ができる空間を検討し、2階の奥側にまとめて、サイレントエリア、視聴覚室、学習室等のエリアを配置して、壁がある箇所に、なるべく奥側で音を遮断するような形で、静かに読書

をしたい方向けのスペースを検討しているところでございます。

以上でございます。

○町長（新川 久三君） いいですか。麥田委員。

○教育委員（麥田 猛美君） 私の頭の中にあるのは、壁面の構造で随分音を小さく散らすことも出来るのではないかとというのが頭にあってお聞きしたんですが、そういう根本的なところで対策をするようなのはないですか。

○教育施設整備室長（樽本 知也君） 今はまだ設計中でございますので、もちろん壁面の関係については、2階の図面を見ていただくと、ちょうど吹き抜けからあまり遮蔽物がないような、見通しが効くような構造となっておりますので、逆に先ほど言いましたゆっくり読書を楽しめるエリアというのを、防音の壁とか、あとサイレントスペースは遮蔽した静かに読んでもらえるようなスペースというのを、メリハリをつけたような形の構造としているところでございます。

以上でございます。

○町長（新川 久三君） いいですかね。では、もう一つ私からね。太陽光発電を設置することはしているよね。屋上辺りにしていないかな。

○教育施設整備室長（樽本 知也君） 屋上につきましては、現在支所が太陽光を場所貸しで既に設置がされておりますので、支所の上のソーラーパネルは、現在でも設置済みでございます。

○町長（新川 久三君） それで一つ、新しい画期的な太陽光電池というのを、この前私がユーチューブで見たんだけど、確かペロブスカイトとかなんかいう下敷き、紙をちょっと厚くしたみたいな、これが発電するという事で開発を日本でしていると。これが壁面でもどこでも貼って、太陽光のCO₂削減になってくるというような形で、壁に貼ったりすれば多くの電源が全部取れるというふうな、もし可能であれば設計者にちょっと話をしてみて、この会議の中でそういう話題になったということで、まだ間に合うと思うから、壁面とかそういう設置可能なところには、ペロブスカイト、もう1回よく調べないと分からないけど、そんな名前だったからね。2025年には本格的に日本がそれを採用していくという、先駆的にやっていたら、それはそれで非常に開発されているから、その分が採用できるのかどうかちょっと打ち合わせをしてみたいと思います。お願いします。

以上です。

③椎田地区小中一貫校建設事業について

○町長（新川 久三君） それでは、椎田地区小中一貫校建設事業の意見交換というか、これも報告がありましたけど、まだ具体的にはアウトラインしか決まってないよね、基本的には。そのところで何かありますか。では、麥田委員お願いします。

○教育委員（麥田 猛美君） 通学も、通学でないのも一緒だと思うけど、今ある学校の周辺の道

路は大変危険なんです。基本、車の離合は難しいということと、近道だから交通量が多いんですよ。だから既存の道路をあたらずに造るというのは非常に危険なものを感じるんですよ。すれすれの状態ですれ違っている状態だから、敷地がどうなるか分からないんですけども、道路を若干拡張するとかしないと、歩道もちろんありませんからですね。自動車屋さんのところから裏門のところは歩道も当然ないですよ。自転車でカツカツ。車の離合は出来ないで、どっちかが待つという状況で、心配しているのが、工事に入る時期からその状況が続いていくじゃないですか。工事用の大きな車がどう入るかを、工程はまだ見てないから分からないんですけど、だからそういう段階から変えていかないと、安全面の保障が出来ないと思っています。もしスクールバスとかを使うのであれば、どっから入れてどっから出すのかなというのものもあるし、見通しがあつたらまた教えてほしいなというふうに思います。

以上です。

○町長（新川 久三君） 分かっていると思います。

○教育施設整備室長（樽本 知也君） もちろん安全面というのは非常に重大な問題だと我々も捉えておりますが、道路の幅幅となりますと、学校事業とは別な形で検討する必要もあろうかと思っておりますので、今日出た御意見を、町長も今日おられますので、そういった形で実現可能な部分につきましては、検討させていただければと思っております。また工事中の安全対策につきましては、発注前でございますので、十分検討して工事に入るような形を取らせていただきたいと思います。また、先日皆様方と視察に行かせていただきました、稲築東、西のコンセプトの中に歩車道分離というのがございました。そこにつきましても、現在の椎田中学校、入り口は車も通りますし、生徒も通るという形で、私も視察に行つて大変勉強になりましたし、視察には梓設計さんも来ていただいておりますので、高低差がある関係で、正門部分の改修がどこまでできるかは分かりませんが、安全面はこういった事例を参考にして設計に取り入れてもらいたいということで協議しておりますので、設計の中で安全面も含めて検討させていただければと考えております。

以上でございます。

○町長（新川 久三君） 他にないですか。なければこの件はまだ始まったばかりで、まだ工程表が出たばかりですので、それと基本的な配置計画ですが、1階、2階、3階というようなことで配置計画が今示されたので、これについて具体的な形で色づけしてもらわないといけない形になるかと思っておりますので、その時は、また色んな意見を出していただきながら、お願いしたいと思います。

これで、3つの意見の交換を終わりたいと思います。その他の意見があればということでございますけれど、無ければ先ほど私が申した学校教育課長のほうからちょっと報告があるようでご

ございます。

○学校教育課長（鍛治 孝広君） 学校教育課、鍛治でございます。昨日、県内の交通安全施設を施工する業者の協会から、町内の小中学校の周辺の交通安全施設、例えば道路の区画線が消えかかっているところを、引いてもらったり等の寄贈を受けました。昨日、感謝状の贈呈を町長からさせていただいたというところでございます。県内、幾つかの地区を回っておりまして、福岡地区、筑後地区と回っていて、京築地区が今回初めてで、京築地区の最初が築上町だったということで、大変ありがたく感謝を申し上げたというところでございます。目録を今手元に持っていないので、また目録等を後ほど紹介させていただきたいと思っております。

以上でございます。

○町長（新川 久三君） そういう形でございますので、確か協会のほうは中学校を中心にして話をしていたね。小学校もできるだけやりましょうという話をさせてもらっております。

では、意見交換も終わりましたので、進行を返します。

（5）その他

○学校教育課長（鍛治 孝広君） 意見交換、貴重な御意見をいただきました。ありがとうございます。次第に沿って、5のその他でございますが、事務局からは特にございません。皆さま方から何かその他であれば、お願いします。

（6）閉 会

○学校教育課長（鍛治 孝広君） よろしいですか。それでは、令和5年度の第1回築上町総合教育会議をこれで閉会をしたいと思います。どうもありがとうございました。お疲れさまでした。

午後3時45分開会
